

リオ+20に向けたIGESの取組み ～レジリエントで持続可能な社会に向けて～

第8回アジア太平洋・エコビジネスフォーラム
2012年2月8日(水)

藤原 聖也

財団法人 地球環境戦略研究機関
プリンシパル・フェロー

目次

(1) リオ+20とは

- I. 背景
- II. リオ+20の目的とテーマ
- III - IV. 主要な2つのテーマ
- V. 持続可能な開発目標
- VI. 優先課題
- VII. 都市の取組み

(2) リオ+20に向けたメッセージ

- I. IGESプロポーザル
- II. リオ+20に対する展望



(1)リオ+20とは



I. 背景

1972: 国連人間環境会議(ストックホルム会議)



1987: 「ブルントランド委員会報告書(*Brundtland Report*)」
⇒ 「将来世代のニーズを損なうことなく現在の世代のニーズを満たすこと」



1992: 環境と開発に関する国際連合会議(UNCED): 地球サミット)
⇒ 環境と開発に関するリオ宣言、アジェンダ21



2002: 持続可能な開発に関する世界首脳会議(WSSD: ヨハネスブルグ・サミット)



2012年6月20-22日:
国連持続可能な開発会議
(UNCSD: 「地球サミット」「リオ+20」)

II. リオ+20の目的とテーマ

会議の目的:

- ① 持続可能な開発に関する新たな政治的コミットメント
- ② 持続可能な開発に関する主要なサミットの成果の実施における現在までの進展及び残されたギャップの評価
- ③ 新規及び顕在化しつつある課題への対応
 - ⇒持続可能な開発目標(SDGs)
 - ⇒優先課題(エネルギー、都市、防災等)

主要な2つのテーマ:

- (a) 持続可能な開発及び貧困根絶の文脈における**グリーン経済**
- (b) 持続可能な開発のための**制度的枠組み**



III. グリーン経済への移行

- 環境悪化リスクの削減により人類の福祉を向上
- 経済開発と環境持続可能性確保の両立を目指す
- 天然資源の基盤を保護・強化、資源効率の向上、持続可能な消費及び生産パターンの促進 ⇒ **世界の低炭素化**

- ◆持続可能な開発を達成するための一つの手段
- ◆環境、経済、社会の統合的考慮を助長するための意思決定の枠組み
- ◆各国の発展段階や優先事項、課題を尊重

- ↓
- ✓グリーン経済ロードマップ
 - ✓グリーン経済ツール・ボックス
 - ✓国際知識共有プラットフォーム etc.

IV. 制度的枠組み(IFSD)の強化

- ◆ 現在の国際的枠組みは新たな課題等に十分に対応できていない
- ◆ SDに関する政策・活動の重複、分散化
 - ⇒ 国際的枠組みや国連機関(UNEP、ECOSOC等)の役割の再確認
 - ⇒ 優先課題や実施状況のギャップをどのように埋めるのか？
- ◆ IFSDの強化
 - ⇒ 持続可能の実現、レジリエントな社会、グリーン経済構築の必須条件
- ◆ 多様な関係者の参画と協働が必要



- ✓ 国連環境計画(UNEP)の強化
- ✓ 持続可能な開発理事会の創設
- ✓ 多層間(地方自治体、国、地域、国際機関)での調整強化 etc.

V. 持続可能な開発目標 (SDGs) とは

- 優先分野の行動志向型の開発目標
(食糧、水、エネルギー等)



- ◆ コロンビア・グアテマラ・ペルーによる共同提案
- ◆ 多くの国・機関・市民社会が支持
- ◆ リオ+20の成果文書に盛り込まれる方向性

- 持続可能な開発の3つの側面 (経済、社会、環境) に統合的に対応
- 先進国・途上国を対象とする普遍的目標
- 新たな課題 (防災、都市等) も検討

持続可能な開発に係る実施を担保するための枠組み



論点

- ✓ MDGsとの関係性
- ✓ 「共通だが差異のある責任」原則
- ✓ GDPに替わる指標
- ✓ 対象課題・分野、実施手段等

VI. 優先課題

ゼロドラフト		リオ+20事務局	日本
<ul style="list-style-type: none"> - 食糧安全保障 - 水 - エネルギー - 都市 - グリーン雇用と社会的包摂 - 海洋、小島嶼開発途上国 - 自然災害 - 気候変動 	<ul style="list-style-type: none"> - 森林と生物多様性 - 土地破壊と砂漠化 - 山 - 化学物質と廃棄物 - 持続可能な消費と生産 - 教育 - ジェンダー平等 	<ul style="list-style-type: none"> - グリーン雇用と社会的包摂による貧困根絶 - 食糧安全保障と持続可能な農業 - エネルギー - 水 - 持続可能な都市 - 海洋管理 - レジリエンスの改善と震災対策 	<ul style="list-style-type: none"> - 防災 - エネルギー - 食糧安全保障 - 水 - 都市 - 持続可能な開発のための教育 - 全球地球観測システムのシステム (GEOSS) - 技術革新とグリーン革新 - 生物多様性

VII. 都市の取組み

- ◆ CO2排出削減、廃棄物処理(特に、3R(リデュース・リユース・リサイクル政策)、大気汚染改善、公衆の参加などで進展
- ◆ 近年は、気候変動緩和・適応や自然災害リスク管理に対する取組みの増加
- ◆ 衛生管理や生物多様性保全の面での進捗が遅い
- ◆ 東日本大震災では、コミュニティ・地方自治体の緊急対応、連携の重要性が明らかに

持続可能な開発達成に向けた
都市の役割が拡大

(2)リオ+20に向けたメッセージ

Rio + 20
Towards and Beyond

IGES



RIO+20
United Nations
Conference on
Sustainable
Development

I. IGESプロポーザル



- リオ+20事務局に「IGESプロポーザル」を提出(2011年11月1日)
- 北東アジア准地域準備会合・アジア太平洋地域準備会合にて発表

主要メッセージ

1. 環境・経済・社会の“レジリエンス(しなやかな強さ、対応力)”の強化
2. 「グリーン経済」への移行は一つの手段
 - ✓ 安全で安定した低炭素エネルギーの段階的導入
 - ✓ 生産者や消費者の行動変化の促進
3. 「持続可能な開発のための制度的枠組み」は
必要条件
 - ✓ 多層間(地方、国、地域、国際)の調整強化
 - ✓ 多層的かつ多様な主体の参加の促進



II. リオ+20に対する展望



1. 「持続可能な開発」に関する新たな政治的コミットメント

- 先進国・途上国の協働による取組みの拡大
- 多層的かつ多様な主体の参加の促進

2. グリーン経済への移行・レジリエントな社会の構築に関する議論の進展

3. 新たな開発目標の策定

- 持続可能な開発目標(SDGs)
- ガバナンス強化に向けた具体的方策の決定



持続可能な開発の達成に向けた道筋を構築

御清聴ありがとうございました。

*「地球は、すべての人の必要を充足せしめても
彼らの欲を満たしきることはできない」*

— マハトマ・ガンジー —

